

訪問リハビリ利用者の 転倒と骨折状況について

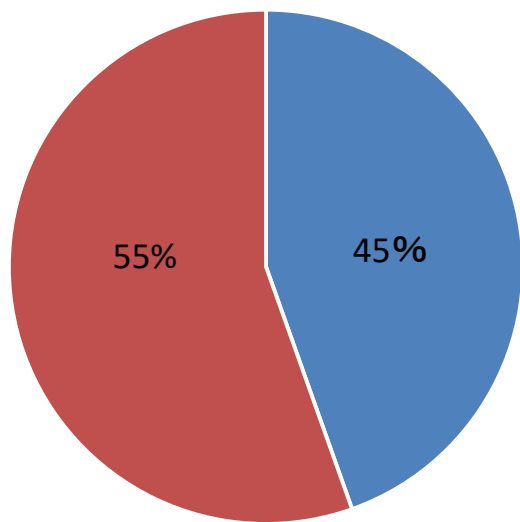
医療法人社団 らぽーる新潟 ゆきよしクリニック 整形外科・リハビリテーション科
医療法人社団 らぽーる新潟 ゆきよし訪問看護ステーション

- 板垣 沙織(PT)
- 清水 美穂(OT)
- 三村 健(PT)
- 荻荘 則幸(MD)

当法人の訪問リハビリについて

H27.4.1 時点

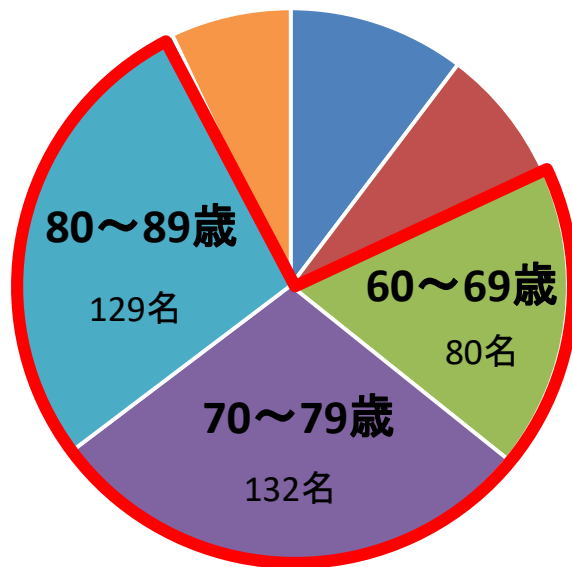
全利用者数



■ 男性 ■ 女性

451名

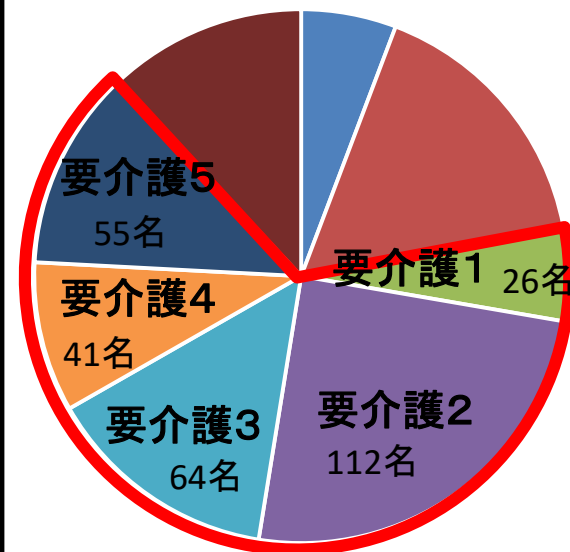
年齢



■ 0～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳
■ 70～79歳 ■ 80～89歳 ■ 90～99歳

全体の75%が60～89歳

介護度



■ 要支援1 ■ 要支援2
■ 要介護1 ■ 要介護2
■ 要介護3 ■ 要介護4
■ 要介護5 ■ (医療保険)

約70%は要介護

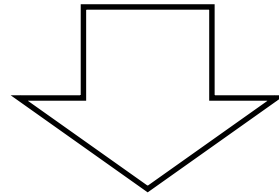
今回の調査の目的

高齢者の寝たきりを引き起こす主要な原因の一つは骨折である。

高齢者の骨折の多くが転倒によって生じる。

高齢者人口の増加が著しく、寝たきり高齢者数の増加、
それに伴う医療費や介護保険料などの経済的な問題も波及している。

(村田 伸:住宅障害高齢者の身体機能・認知機能と転倒発生要因に関する前向き研究. 理学療法学,2006,33(3):97-104)



当法人の訪問リハビリテーションを利用されている方の転倒状況は？

転倒と骨折について調査し、今後の転倒予防に繋げるため。

調査① ～転倒についての調査～

調査② ～転倒スコア～

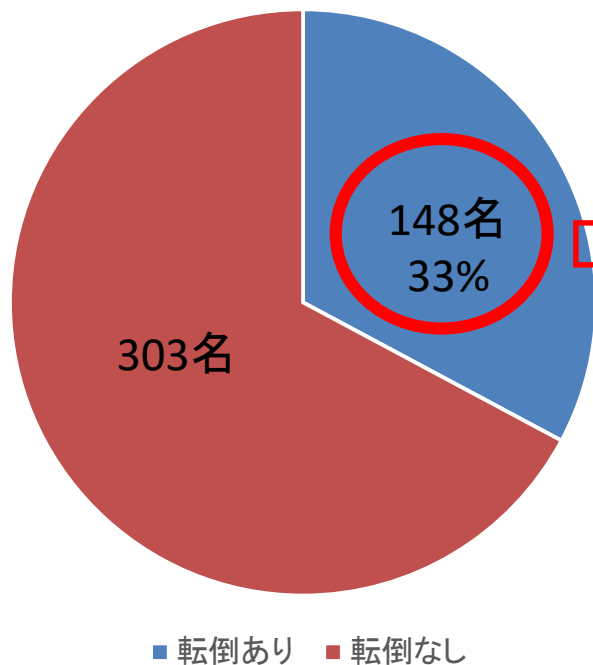
調査① ～転倒についての調査～

対象 H26.4～H27.4での、当法人の訪問リハ(訪問リハ, 訪問看護)全利用者, 451名.

調査方法 全利用者に対し, 過去1年間(H26.4～H27.4)における転倒の有無を確認.

→ 担当セラピストより, 利用者ご本人, もしくはご家族に確認.

過去1年間での転倒状況

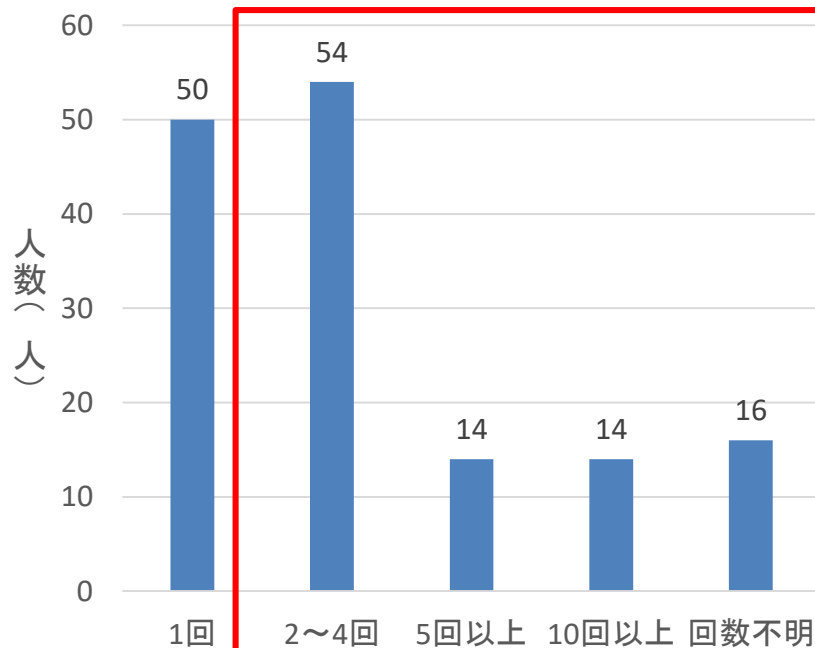


148/451名に転倒あり

介助者付き添いでの転倒13名・転落 5名 を含む

転倒回数

※ご本人とセラピストが把握している回数



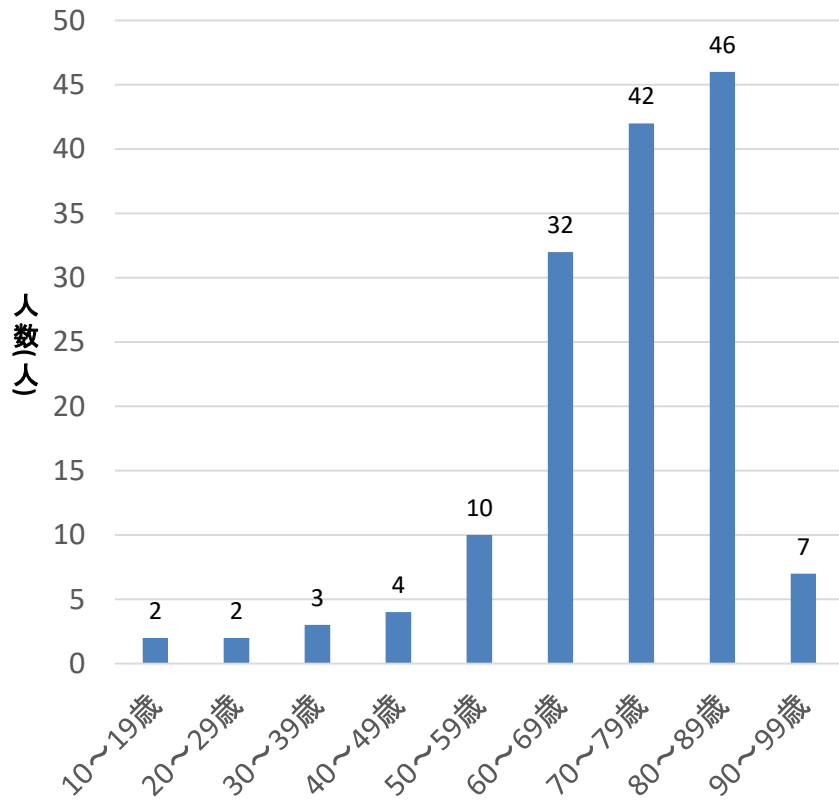
約65%が複数の転倒あり

・H27.4～H27.8の間で, 転倒者148名中6名が転倒により入院, 又は転倒による活動性低下で訪問リハビリ終了.

調査① ～転倒についての調査～

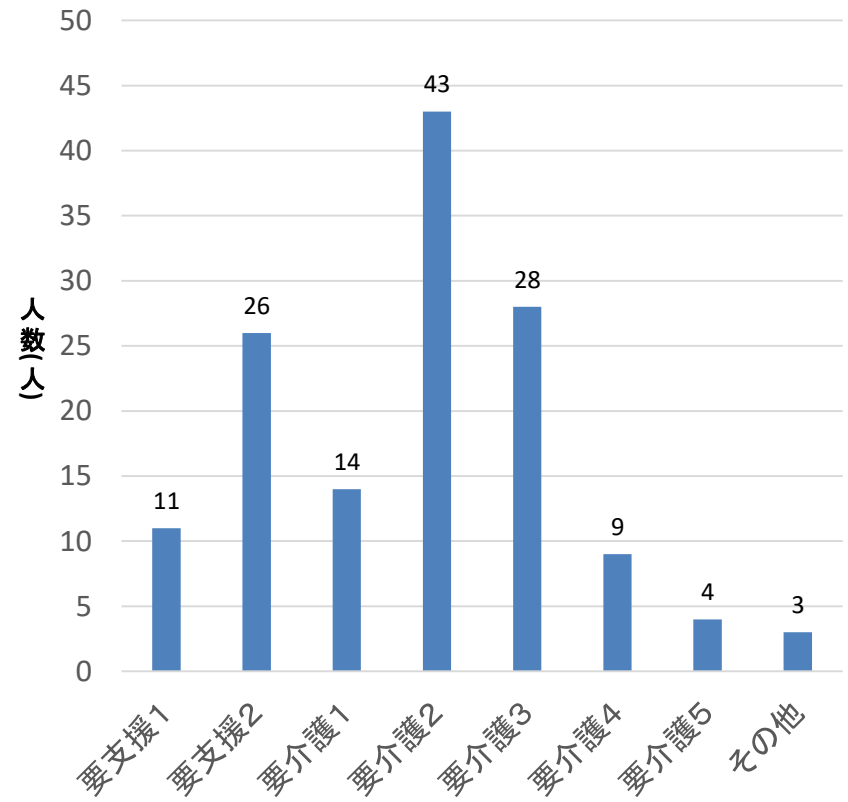
H26.4～H27.4

転倒者 年齢



・60～89歳に転倒が多くみられた。

転倒者 介護度



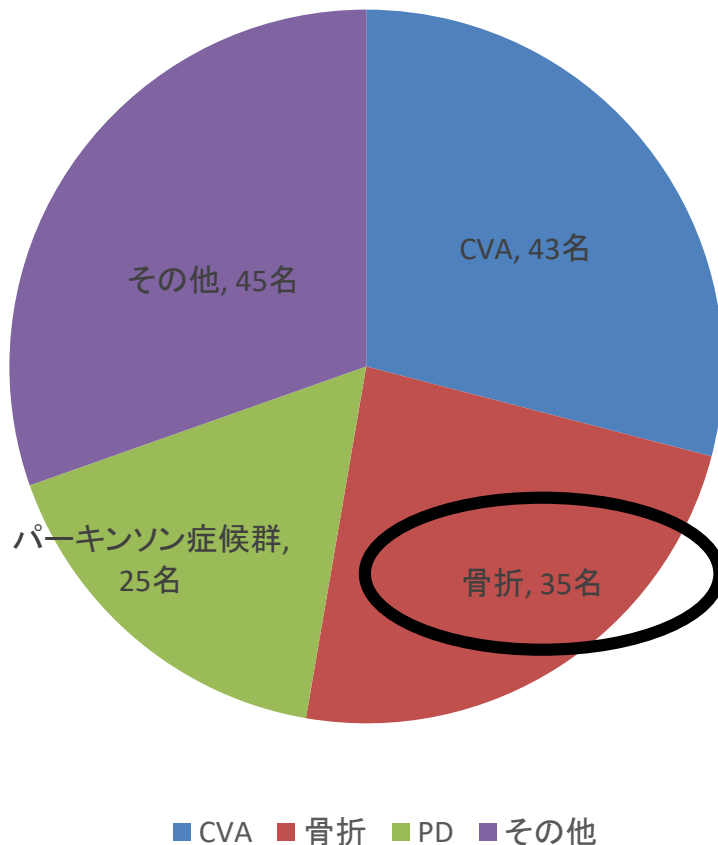
・要介護4, 5の方は、転落, または介助者付添いでの転倒が多くみられた。

調査① ～転倒についての調査～

H26.4～H27.4

転倒者 疾患名

※訪問リハビリテーション指示書より(重複あり)



①CVA ②骨折 ③パーキンソン症候群

骨折に関しては、
CVAやパーキンソン症候群など
他の疾患と重複しているケースが多い。

骨折者の**約8割**が転倒による骨折

骨折部位

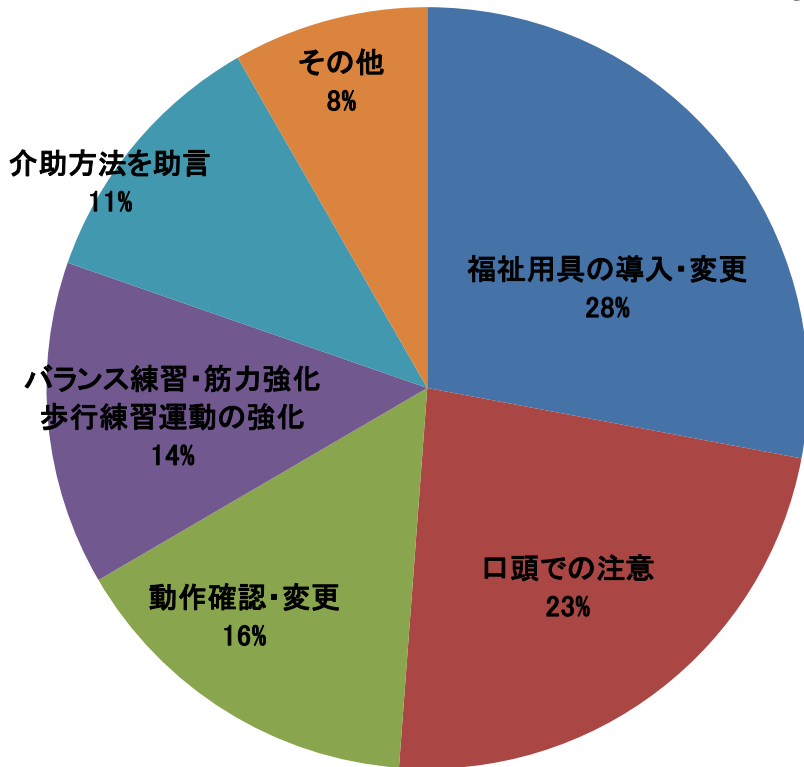
- ①大腿骨近位部骨折
- ②上腕骨顆上骨折
- ③橈骨遠位端骨折
- ④その他(肋骨骨折など)

調査① ～転倒についての調査～

転倒者148名の担当セラピストにアンケートを実施

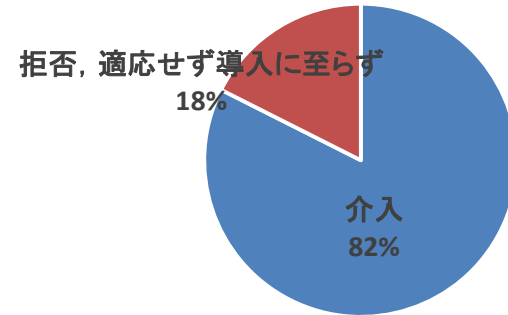
転倒後、再転倒予防に対し
どのような介入を行ったか？(複数回答あり)

H27.4.1～8.31



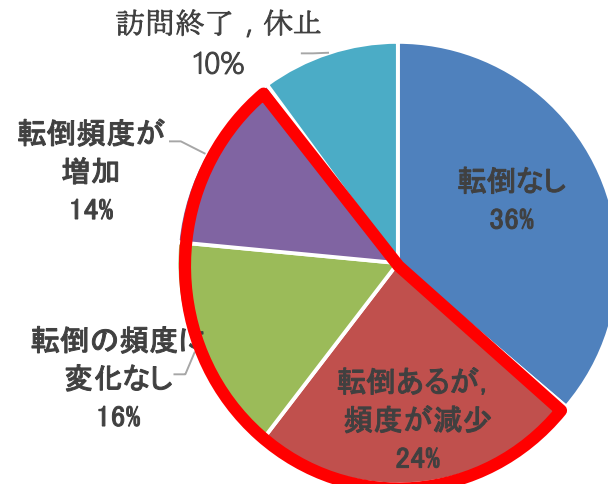
介入状況

H27.8.31



介入後の転倒の変化

H27.8.31



転倒者の約半数は再転倒。

転倒スコア

項目	配点	
	1	0
1 過去1年に転んだことがありますか (転倒回数 回)	はい	いいえ
2 つまづくことがありますか	はい	いいえ
3 手すりにつかまらず、階段の上り下りができますか	はい	いいえ
4 歩く速度が遅くなってきましたか	はい	いいえ
5 横断歩道を青のうちに渡り切れますか	はい	いいえ
6 1キロメートルぐらい続けて歩けますか	はい	いいえ
7 片足で5秒くらい立っていられますか	はい	いいえ
8 杖を使っていますか	はい	いいえ
9 タオルを固く絞れますか	はい	いいえ
10 めまい、ふらつきがありますか	はい	いいえ
11 背中が丸くなってきましたか	はい	いいえ
12 膝が痛みますか	はい	いいえ
13 目が見えにくいですか	はい	いいえ
14 耳が聞こえにくいですか	はい	いいえ
15 もの忘れが気になりますか	はい	いいえ
16 転ばないと不安になりますか	はい	いいえ
17 毎日お薬を5種類以上飲んでいませんか	はい	いいえ
18 家の中で歩くとき暗く感じますか	はい	いいえ
19 廊下、居間、玄関によけて通るものが置いてありますか	はい	いいえ
20 家の中に段差がありますか	はい	いいえ
21 階段を使わなくてはなりませんか	はい	いいえ
22 生活上、家の近くの急な坂道を歩きますか	はい	いいえ
	合計	

5, 6, 7, 9は「いいえ」を、それ以外は「はい」を1点とし、10点以上が転倒のハイリスク。

調査② ～転倒スコア～

H26.4～H27.4

過去1年間で転倒のある方 148名

※対象から除外

- H27.4.1で歩行不可能な方 6名
- 転落者 5名
- HDS-Rで認知面低下がみられる場合
- 調査に拒否がみられる場合



今まで転倒による骨折がある
28名に対象を絞った



転倒スコアを実施

18名から回答が得られた。
(転倒による骨折者がある方の約65%)

転倒スコア

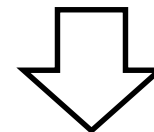
項目	配点	
	1	0
1 過去1年に転んだことがありますか (転倒回数 回)	はい	いいえ
2 つまづくことがありますか	はい	いいえ
3 手すりにつかまらず、階段の上り下りができますか	はい	いいえ
4 歩く速度が遅くなってきましたか	はい	いいえ
5 横断歩道を青のうちに渡り切れますか	はい	いいえ
6 1キロメートルぐらい続けて歩けますか	はい	いいえ
7 片足で5秒くらい立っていられますか	はい	いいえ
8 杖を使っていますか	はい	いいえ
9 タオルを固く絞れますか	はい	いいえ
10 めまい、ふらつきがありますか	はい	いいえ
11 背中が丸くなってきましたか	はい	いいえ
12 膝が痛みますか	はい	いいえ
13 目が見えにくいですか	はい	いいえ
14 耳が聞こえにくいですか	はい	いいえ
15 もの忘れが気になりますか	はい	いいえ
16 転ばないかと不安になりますか	はい	いいえ
17 毎日お薬を5種類以上飲んでますか	はい	いいえ
18 家の中で歩くと暗く感じますか	はい	いいえ
19 廊下、居間、玄関によけて通るものが置いてありますか	はい	いいえ
20 家の中に段差がありますか	はい	いいえ
21 階段を使わなくてはなりませんか	はい	いいえ
22 生活上、家の近くの急な坂道を歩きますか	はい	いいえ
	合計	

5, 6, 7, 9は「いいえ」を、それ以外は「はい」を1点とし、
10点以上が転倒のハイリスク。

調査② ～転倒スコア～

「はい」を1点
5, 6, 7, 9は「いいえ」を1点

10点以上が転倒のハイリスク



17/18名がハイリスク

調査② ～転倒スコア～

H26.4~H27.4

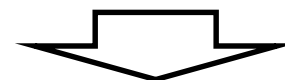
過去に転倒による骨折がある方が転倒スコアで**選択した多い項目**(回答者18名)

- ①過去1年に転んだことがありますか(18名がはい)
- ⑤横断歩道を青のうちに渡り切れますか(15名がいいえ)
- ⑥1キロメートルぐらい続けて歩けますか(17名がいいえ)
- ⑦片足で5秒くらい立っていられますか(17名がいいえ)
- ⑩転ばないかと不安になりますか(17名がはい)
- ⑪毎日薬を5種類以上飲んでいきますか(17人がはい)

まとめ

1年間(H26.4~H27.4)の転倒

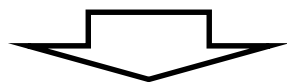
当法人訪問リハ利用者 約35%転倒あり



転倒者の約65%に複数回転倒あり

転倒後の介入

- 環境面
(福祉用具の導入, 介助者への助言など)
- 身体機能面
(バランス練習など)
- 動作方法の確認, 変更



介入後の転倒の変化

再転倒なし 約35%

半数は再転倒あり!

まとめ

過去1年間で転倒のある方 148名



今まで転倒による骨折がある
28名を対象を絞った



転倒スコアを実施

18名から回答が得られた。
(転倒による骨折者がある方の約65%)



17/18名 転倒スコアでハイリスク

選択された多い項目のひとつ
『毎日薬を5種類以上飲んでいますか』

転倒後の介入についての調査では、セラピストより内服の確認などは聞かれなかった。

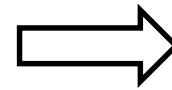
- 睡眠薬や安定剤、抗うつ薬、抗精神病薬などの薬剤はふらつき、転倒を誘発する薬剤である。
(神崎恒一:高齢者の転倒予防.日本老年医学会雑誌,2010,47(2):137-139)

改めて内服の確認も必要

今後の課題

負の連鎖

転倒



活動性低下



筋力・バランス能力などの低下

- 転倒が多くみられる場所
- 転倒の危険性がある場所
- 介助方法
- 内服の効果, 副作用

確認を徹底!

- 再転倒予防
- 転倒しても怪我をしない環境づくり

重要!

ご本人・ご家族・他職種で共有していくことが必要!!

今後の課題

- 転倒していない方や、転倒しても骨折をしていない方などとの比較が行えない。
- 認知機能面の低下がみられる方の調査が行えていない。（今回は、対象から除外しており、様々な文献でも認知機能面とバランス能力の低下が報告されてる。）

『なぜ転倒するのか』 いつ、どこで、どのようなタイミングで...
今後も情報をまとめ今後に生かしていきたい。

～ご清聴ありがとうございました～